

# 事業支援・仕事・技術・資格の情報ページ

不払いや融資など仕事・経営の相談は遠慮なく東京土建の各支部事務所まで。

## 若者が集まる業界に

### 板橋支部の藤原正宏さん



【総合事業支援センター発】株式会社富士工の代表取締役である藤原正宏さん(65歳)にお話を伺いました。昭和28年設立の会社は、従業員が11人、外注さんは2人から3人で常時15人体制で現場に入っています。

当初は内装工事を中心でしたが、現在はフェンス外構工事为主体とのことです。区の公園等

のフェンス工事受注では、近くて小回りが効くことから評判は良いようです。今後は、内装工事でもできれば対応したいと考えています。



温厚な人柄が溢れ出ている藤原さん

現在、社員募集中です。これまで広告紙なども活用しましたが「電話一本も来ない」状況だそう。外国人の実習生も雇用しています。期間限定ですが、仕事への意欲を感じるし真面目だということです。募集では、若者がこの業界に興味を持ってやってくれるよう働きかけたという話です。「(藤原さんが)怒ったところを見たことがない、いつもおだやかで温厚な方です」とは、従業員の話です。

### 最大の魅力は 土建国保

厚生年金と土建国保の適用除外を知り、東京土建に加入

しました。それまでは、そういった情報がなかったのだから、何よりも東京土建の最大の魅力は健康保険です。家族が入院したとき、入院料は大変助かりました。手続きも簡単で、治療費も食事代で済みました。

組合では、土建国保以外にも労災・雇用保険などいろいろと活用がありますし、支部事務所の皆さんには何でも良くしてもらっています。もっと早く東京土建を知って入っておけば良かったです。

【特別教育など】石綿 4月17日午後(火)池袋、4200円、自由研削砥石・丸のこ・熱中症と3日間連続セット割引1万7200円、自由研削砥石4月18日(水)

【資格講習コーナー】お申込み、お問合せは各支部技術担当者へ

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

## 社労士ネットひろいじゅんのコーナー 27

みなし労働時間制や残業代ゼロ法案など「働き方改革関連法案」で国会は大きく揺れています。2017年1月20日には「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき処置に関するガイドライン」

「労働時間としての考え方」についても、会社と現場間の移動(行き帰り)や現場における「手待時間」、会社が指

示する研修・教育訓練、資格取得のための講習時間も労働

現場での過労自殺など、過重な長時間労働や割増賃金の未払い問題などが多発して

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

## 働きがいある職場に 労働時間を適正に把握して

「労働時間としての考え方」についても、会社と現場間の移動(行き帰り)や現場における「手待時間」、会社が指

示する研修・教育訓練、資格取得のための講習時間も労働

現場での過労自殺など、過重な長時間労働や割増賃金の未払い問題などが多発して

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円

【建設機械】玉掛 4月11日(水)池袋、2万1千円



優良職長賞を受賞した松川さん(右)。隣は事業主の松本本部賃金対策部長

【江戸川・防水・松川幸一】安全に現場工事を進めるうえで一番大切なのは、作業手順を守ることだと思

【優良職長賞に松川さん】「ケガをしない」「ケガをさせない」。これからも、作業員全員で安全な現場を目指しましょう。

【優良職長賞に松川さん】「ケガをしない」「ケガをさせない」。これからも、作業員全員で安全な現場を目指しましょう。

## 求人

内装解体・土工・多能工(請負) 総合解体 大和組(渋谷支部) 0800-53375-156609

## 求職

とび・土工(正規) (株)N.S.D.(豊飾支部) 06458-080896

現場管理・監督(正規) (株)日本トップス(板橋支部) 03955-82278

大工(正規) ハウス・ラボ(小平東村山支部) 090-5449-9436

耐火被覆吹付け(正規) 木村耐火(足立支部) 090-7251-3051

電気工事(正規・短期) (株)RY(練馬支部) 080-4689-82267

電気工事(正規・短期) (株)RY(練馬支部) 080-4689-82267

「ケガをしない」「ケガをさせない」。これからも、作業員全員で安全な現場を目指しましょう。